

科目名		建築設備			
担当教員		伊與部 聖奈		実務授業の有無	無
対象学科		建築大工科	対象学年	1	開講時期
必修・選択		必修	単位数	1	時間数
授業概要、目的、授業の進め方		授業はプリントを使用し、分かりやすい言葉を用いたり図を描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。 前期では、給排水衛生設備、換気設備、電気設備、照明設備、とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。 後期に目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		初学者の建築講座 建築設備（第四版）			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	給排水衛生設備			給排水衛生設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
2	換気設備			換気設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
3	電気設備			電気設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
4	※各分野ごとに評価テストを行う。（4回を予定）				
5	※毎回の授業で授業要点レポートに取り組む。				
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	授業要点レポート			各分野ごとに評価テストを行う。評価テストに加え、授業ごとに授業要点レポートの提出を課すのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。評価テストはもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。	
80 %	20 %	%	%	建築設備は快適な居住環境を整えるためになくしてはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			